

2022 年度事業報告書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

1. 事業の成果

コロナ感染症の対応が緩和されたこともあり対面による相談件数が戻り、非対面では聞き取りづらかった当事者やご家族の具体的な困りごとを再び把握できるようになった。また家族活動も再開できるようになった為ピアサポートによる支援、並びに各支援事業所と連携をより深め対応に取り組むことができた。

また一年を通し、唐津・太良・鹿島・鳥栖等の佐賀地区外、遠方の医療機関や支援機関からの高次脳機能障害者の症状への対応方法や就労等についての相談も多く、圏域においてはまだ高次脳機能障害への理解の遅れを痛感することとなった。そのため、各地区における保健所や市町の障害福祉課、基幹センターや事業所への訪問や新しいリーフレット・会報誌等を送付し、改めて高次脳機能障害への理解啓発活動を強化したことにより、例年より病院退院時のソーシャルワーカーとの連携が密になり、当事者の社会生活復帰の環境整備が整えやすくなった。

2. 事業実績

A) 相談・支援

高次脳機能障害に関する日常生活の諸問題についての相談受付、解決法の提示、及び解決に向けての活動を実施。

- 場 所 : 佐賀県佐賀市新中町 8 - 20
- 事業日程 : 相談業務受付 通年 火曜～土曜 (10 時～17 時)
- 従 事 者 : 1 名 (相談支援専門員)
- 対 象 : 高次脳機能障害当事者、家族、行政福祉等の関係者

相談方法	電話	来所	メール	その他
	258	69	8	29

のべ相談人数 364 名 のべ相談件数 890 件

B) 主催 (研修会・講演会・会議)

① 研修会開催

2022 年 (令和 4) 年度 高次脳機能障害研修会

日 時 : 令和 4 年 10 月 2 日 (日) 13 : 30～

場 所 : アバンセ 4 階第 2 研修室 A

講 師 : 松尾崇史氏 (熊本保健科学大学大学院 保健科学研究科)

テーマ：「避難所でうまく過ごすために」

参加者：23名（web 15名）

② 支援会議開催：4回（17名）

③ 勉強会開催：5回（23名）

テーマ・・・高次脳機能障害とは・易怒性について・自動車運転について
理解することの困難さ・親なき後について

④ 家族会：4回（54名）

⑤ その他 通院・診療同行、訪問等での相談受付、会報誌発行

C) 協力（研修会・講演会・会議）

① 協議会等参加

- ・令和4年度 第1回 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
- ・令和4年度 第1回 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
日 時：令和4年6月29日 ※Web会議

- ・令和4年度 第2回 高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会
- ・令和4年度 第2回 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議
日 時：令和5年2月17日 ※Web会議

- ・令和4年度 第1回 佐賀地区自立支援協議会全体会議
日 時：令和4年8月19日
場 所：佐賀市役所（大和支社）3階 第4会議室（32名）

- ・令和4年度 第2回 佐賀地区自立支援協議会全体会議
日 時：令和5年2月13日
場 所：佐賀市役所（大財別館）4階 4-1, 4-2 会議室（32名）

- ・高次脳機能障害支援普及事業九州ブロック会議 in 長崎
日 時：令和4年11月28日 ※Web会議

① 研修会・講習会

- ・佐賀県リハビリテーション講習会（2回）

日 時： 令和4年10月28日（1回目）

令和5年1月14日（2回目）

- ・高次脳機能障害のリハビリテーション（「信念が明日を切り拓く」）

日 時： 令和5年3月18日

場 所： 博多市民センター

講 師： 橋本圭司氏（昭和大学准教授）

② 支援会議

- ・支援会議 / ケース会議 19回（100名）

③ 勉強会

- ・支援者の為の勉強会 2回（12名）

《令和5年度事業計画》

- 高次脳機能障害研修会開催
- 相談支援員の育成
- 困難事例対応の為の関係機関との連携強化
- 会報誌の発行